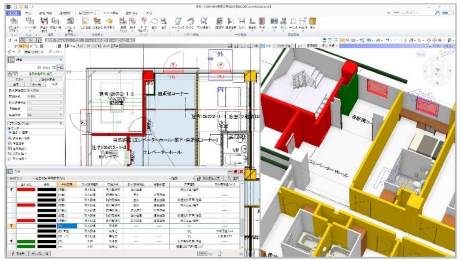
確認申請
業務支援

GLOOBE
Japanese Building Information Modeling CAD System
確認申請支援ツール

GLOOBEユーザーが組織するJ-BIM研究会から
生まれた確認申請用図面作成の効率化ツール。
専用テンプレートとその活用マニュアルを
弊社ホームページで、無償公開中！

※本ツールは、GLOOBEのユーザーが組織する「J-BIM研究会」によって作成されております。



https://archi.fukuicompu.co.jp/products/gloobe/shinsei.html

福井コンピュータアーキテクトがお届けする“新”建築情報コンテンツ「スタラボ」

＜製品活用事例＞や＜業界情報＞など、建築の旬な情報満載！

ARCHITECT STYLE LAB

建築事例サイト・スタラボ

http://archi.fukuicompu.jp/architectstylelab/

FAX申込書

必要事項をご記入の上送信してください。　※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

貴社名	
ご住所	
お名前	所属部署＿＿＿＿＿＿　参加人数＿＿人
E-mail	イベントのご連絡に使用させていただきます。必ずご記入ください。 @
連絡先	TEL（　　）　　-　　／FAX（　　）　　-

●ご提供いただいた個人情報は、福井コンピュータグループ各社の個人情報取扱い基準である「プライバシーポリシー」に基づき管理させていただきます。「プライバシーポリシー」はグループ各社のホームページ（フッタに記載）で確認できます。●個人情報は、「プライバシーポリシー」に記載されている利用目的の範囲内で、守秘義務を負う業務委託先に提供する場合を除いて、承諾なく個人情報を第三者に提供することはございません。●個人情報に関する情報開示のご請求や、修正などのご依頼がありましたら、福井コンピュータホールディングス（株）情報システム部（ナビダイヤル0570-039-291）、または各社ホームページよりお問合せください。

FAX.098-863-3986

Web申込みはこちらから
https://j-bim.gloobe.jp/
GLOOBE　検索

●本イベントの企画・運営
福井コンピュータアーキテクト株式会社
沖縄オフィス
九州営業所：福岡県福岡市博多区博多駅東2-2-13　博多駅前ビル3F

●お電話でのお問合せは　[福井コンピュータグループ総合案内]
ナビダイヤル 0570-039-291　発信元:273沖縄-1909

FUKUI COMPUTER

沖縄BIM事例セミナー

参加無料・定員120名

国産BIM最新活用事例

中央都市のゼネコン・組織設計事務所の事例を通じて沖縄のBIMを考える

2019.10.16 水

開催時間／13:30～17:30
（受付13:00～）

沖縄県立博物館・美術館講堂

沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号
TEL.098-941-8200
https://okimu.jp/guide/access/

■主　　催／ 福井コンピュータアーキテクト株式会社
■開催後援／ 一般社団法人沖縄県建築士事務所協会

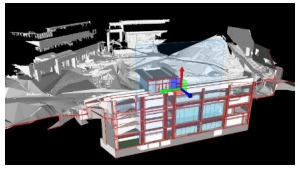
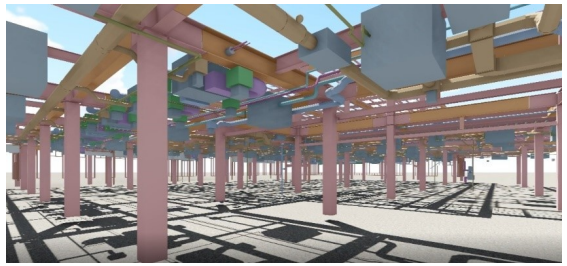
1 Seminar

鴻池組のICT/BIM

～ICT/BIMの活用に必要な3つのこと～

13:35-14:25

鴻池組では、GLOOBEを中心にBIMツールで作成されたモデルデータを関係者に伝える手段として、VRやARへの展開や、各種ICTツールの活用推進に取り組んでいます。
本公演では、ICT/BIMへの取り組みや、新たに開発されたICT関連ツールの紹介と、今後の課題と将来の展望について講演します。

講演者 株式会社 鴻池組
建築事業総轄本部
工務管理本部
技術統括部 ICT推進課
内田 公平 氏

2 Seminar

鉄道系設計事務所のBIM活用

～鉄道固有のオブジェクト作成とBIMデータからの図面化～

14:35-15:25

JR西日本グループの建築設計部門として、主に駅舎やバリアフリー改修、駅周辺の公共施設、商業施設、高架下開発等の設計・監理を実施する鉄道総合コンサルタントである同社は、2013年にGLOOBEを導入し、企画提案・設計業務でBIM活用をスタート。
鉄道固有のオブジェクト作成や、自社フォーマットの図面対応においても課題を克服し続け、JR西日本グループにおいて、FMを含めたBIMデータ活用のサイクル確立を視野に進度化中。

講演者 ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社

建築設計本部
建築設計部
BIM推進室 次長
延安 英雄 氏

建築設計本部
建築設計部
BIM推進室 係長
池田 浩明 氏

建築設計本部
建築設計部
BIM推進室
徳永 大海 氏

3 Seminar

パネルディスカッション

BIMの現状と今後の展望

～中央のBIMと沖縄のBIM　過去から現在そして将来～

15:45-16:35

日本のBIM元年2009年から10年が経過した今、
「いつ頃からBIMへの取組みをスタートしたのか？」
「BIMの取り組み直後から現在まで、どんなことにチャレンジし、どんなことを実現してきたのか？」
「今後の取組み目標や課題は？」
といったテーマで、東京・大阪などの大都市を拠点とする企業さまとご当地沖縄を拠点に活躍される企業さまとで、BIMの今と未来、大都市と地方都市におけるBIMのあるべき姿について、パネルディスカッションを行います。

コーディネーター 福井コンピュータアーキテクト株式会社
第一商品開発室 エキスパート
楠田 雄三 氏

パネリスト 株式会社 鴻池組
建築事業総轄本部
工務管理本部 技術統括部 ICT推進課
内田 公平 氏

パネリスト 金秀建設株式会社
企画営業本部 設計部 係長
山川 真衣 氏

パネリスト ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
建築設計本部 建築設計部
BIM推進室 次長
延安 英雄 氏

パネリスト 株式会社 アイムホーム
設計部 設計一課
新垣 祐太 氏

1 Introduction

ユーザー会のご紹介

16:35-16:45

沖縄県では「沖縄GLOOBEユーザー会」を定期的に開催しております。
GLOOBEを実務で使用しているユーザー様同士が互いに繋がりあい、情報を共有し、今後の沖縄県のBIMを推進していく場にしたいと考えております。
ユーザー会 副会長 新垣氏よりご紹介いたします。

講演者 沖縄GLOOBEユーザー会　副会長
新垣 祐太 氏　（株式会社 アイムホーム）

2 Introduction

CIMコミュニケーションシステムのご紹介

16:55-17:15

CIM（Construction Information Modeling）とはBIMに倣ってスタートされたもので、BIMと同様に3次元モデルを中心に関係者間で情報共有することで一連の建設生産システムの効率化・高度化を図るものです。
4D施工ステップによる施工手順の「見える化」やi-Constructionで利用する3次元設計データの作成が行えるCIMコミュニケーションシステム「TREN—CORE」をご紹介いたします。

講演者 福井コンピュータ株式会社
宮﨑 忍 氏